

令和4年度 **ともそだち**



令和5年1月26日大崎上島幼稚園No. 18

10年に1度の寒波が到来し、寒い日が続きます。大人は、強風と低温を心配しましたが、子供たちにとっては冬ならではの体験ができる貴重な日となりました。寒波初日は、昼食後降り始めた雪に大興奮！

「外に出てきてもいいよ。」と声をかけると、やっぱり1番先に出たのは年長組さん、続いて年中組、年少組と「すごい！」「楽しい。」と歓声をあげながら運動場を走り



まわりました。わずか数分の間でしたが大満足の子供たちでした。

そして次の朝、またまた歓声があがりました。池に張った氷を見つけたのです。12月にも1度張りましたが、今回の氷は分厚く割るのも大変です。「どうやって割る？」「足で割る？」「スコップがいいんじゃない？」「それがいい」と割る方法を考えたほし組の子供たち。寒さ、冷たさも忘れ夢中になって遊びました。



足でつついてみた年長組さんでしたが、道具を使うことを思いつき大きなスコップをもってきました。



その様子を部屋から見ていた、年少組年少組の子供たちもスコップを片手に池に集まってきました。



こんなに氷が取れました。25日(水)の氷は、夕方まで溶けることがなくその事に気づいた年長組からは「すごい！時間がたったのにまだ溶けてない。」と新たな発見の声が聞かれました。今まで、お昼頃になると溶けていた経験をしているからこそ「なぜ溶けていないのか？」と疑問がわいたのでしょよね。体験は思考力の育ちの源です。



氷遊びを通してたくさんのことを発見し、考えて遊びました。詳しい様子は、学級だよりをお楽しみに！